



青森オフィス町内会設立総会議事録

- 1 日 時 平成22年1月25日(月)午後3時～午後3時30分
- 2 場 所 ラ・プラス青い森(青森市中央1-11-18) 2階 メープル
- 3 出席者数 会員総数32名中、出席31名(当日出席13名、委任状出席4名、書面議決書14名)、欠席1名
- 4 議 案
 - 第1号議案 「青森オフィス町内会」運営規約(案)について
 - 第2号議案 事務局代表及び副代表の選出について
 - 第3号議案 平成21年度事業計画(案)について
- 5 議事審議の概要及び議決の結果
 - (1) 開会
定刻となり、司会者から開会が宣言された。
 - (2) 開会挨拶
開会に当たり、青森県環境生活部環境政策課の山田課長が挨拶(別紙1)を述べた。
 - (3) 仮議長選出
司会者から仮議長の選任について諮ったところ、異議なく青森市古紙リサイクル事業協同組合の太田代表理事が選任された。
 - (4) 総会の成立
司会者から会員の総数及び出席会員数の報告があり、議決に必要な定員数を満たしており、総会が成立する旨報告された。
 - (5) 議事録署名者の指名
仮議長から議事録署名者として、株式会社藤本建設総務部課長の相川亮氏と丸喜株式会社齋藤組総務部の金枝博之氏を指名した。
 - (6) 議案の審議及び結果
 - 第1号議案 「青森オフィス町内会」運営規約(案)について、県担当者から説明の後に、仮議長が承認を求めたところ満場一致で承認された。
 - 第2号議案 事務局代表及び副代表の選出について、事務局代表については青森リサイクル事業協同組合の太田代表理事を、副代表には青森県中小企業家同友会の市村事務局長を推薦する旨の提案があり、仮議長が承認を求めたところ満場一致で承認された。なお、総会の議長は事務局代表が務めることとなっているため、引き続き太田代表理事が議長を務めた。事務局代表及び副代表挨拶 事務局代表と副代表が挨拶(別紙2, 3)を述べた。



第3号議案 平成21年度事業計画(案)について、青森市古紙リサイクル事業協同組合の北海紙管株式会社青森営業所の星所長から説明があった。株式会社藤本建設の相川課長から12月から試行的に開始した回収に対する意見(別紙4)が述べられた。議長が承認を求めたところ満場一致で承認された。なお、正式な古紙回収の開始日は2月1日に決定した。

(7) 議事の終了

議長は全議案の審議を終了した旨宣言した。

(8) 閉会挨拶

閉会に当たり、青森市環境部清掃管理課の小笠原課長が挨拶(別紙5)を述べた。

(9) 閉会

司会者から閉会が宣言された。

以上、この議事録が正確であることを証するため、議長ならびに議事録署名人は次に署名押印する。

平成22年1月25日

議 長 太田 雄三



議事録署名人 相川 亮



議事録署名人 金枝 博之





別紙1（青森県環境生活部環境政策課 山田課長挨拶）

県の環境政策課長の山田でございます。

本日はお忙しいところ、青森オフィス町内会設立総会に御出席いただきましてありがとうございます。

青森オフィス町内会は、本県のごみの排出量及びリサイクル率低迷の大きな要因となっている事業系古紙対策として、県内では初めて、青森市内を対象に開始するものです。

昨年10月から参加会員を募集したところでありますが、青森市古紙リサイクル事業協同組合、青森市のお力により、お陰をもちまして、ここにお集まりの皆様を始め、多くの事業者の方々の御理解が得られ、本日の設立総会を開催する運びとなりました。改めて感謝申し上げます。

まずは、排出事業社会員27社、回収事業者会員5社からのスタートとなりますが、本会の取組の広がりが青森市における事業系古紙のリサイクルに大きく貢献することとなります。

今後とも会員の一層の拡大のため、県としても引き続き普及啓発に努めて参りますが、会員皆様の御協力と、そして、一般廃棄物を担当しております青森市の更なる御尽力をお願い申し上げます。

最後に本会が益々発展し、青森市における古紙リサイクルが普及されるとともに、オフィス町内会の成功モデルとして県内に普及・浸透することを祈念し、簡単ではありますが、御挨拶とします。

別紙2（青森市古紙リサイクル事業協同組合 太田代表理事）

事務局代表を務めることになりました太田でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

県環境政策課の後押しをいただきながら、皆様の御理解と御協力のもと、この青森オフィス町内会が立ち上がることになりました。青森オフィス町内会は東京の本案本元のオフィス町内会の半谷代表様からいろいろと御指導いただいて参りましたが、すべてが東京方式ということではなくて、青森という地域性も考慮しながら、青森ならではの仕組みになっております。排出事業者会員には新たな費用の負担をお願いすることなく、古紙分別について少しでも手間をかけていただく、回収会員には回収車両や古紙の梱包設備を新規に導入するのではなく、従来の回収車両を少しでも寄り道をさせていただく、双方が目的の達成に向かって少しでも手間をかけることで古紙のリサイクルを進めて、循環型社会の形成の一端を担わせていただきたいということだと思っております。分別が徹底して事業所のごみ箱の中には紙類が入っていないという状況になるには、時間がかかる場所があるかも知れません。回収会員には、ちょっとした寄り道のつもりがドライブになってしまうこともあるかも知れません。足下の状況に一喜一憂するのではなくて、青森市内の古紙リサイクルを推進するというこの町内会の趣旨・目的を会員相互に共有しながら同時に青森市清掃管理課との連携もさせていただきながら、一つ一つ前に進んでいきたいなと思っておりますので、会員の皆様、関係各位の皆様方の一層の御協力とお力添えを賜りたいとお願ひ申し上げる次第でございます。どうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございました。



別紙3（青森県中小企業家同友会 市村事務局長）

現在、青森オフィス町内会の排出事業者側として27社参加されているそうですが、その中で私、中小企業家同友会の事務局の市村と申しますが、オフィス町内会の事業目的であります事業活動に伴う経費の削減、それから環境活動への貢献という設立趣旨に賛同いたしまして協力させていただくという立場で参加させていただきました。

私どもの中小企業家同友会には、青森市内の事業者が120社加盟しております、今事業者としての経済活動中心に地域に対する貢献ということを日々考えておりますけれども、環境問題というのはひとつ大きくこれから企業経営の中で考えていかなければならないと、そういう時代に入っております。私どもの会も環境保全型の経済社会だとか、資源循環型の経済社会ということで事業者の立場としてどういう社会貢献ができるのかなということも日々いろんなかたちで勉強させていただいております。こういうかたちで青森市内で古紙中心になりますけれども、資源を回収して循環型社会をつくっていくという趣旨については、非常に私どもの考え方としても共有する部分がありますので、これから積極的に協力させていただきたいと思っておりますので、皆様もどうぞよろしく願います。

別紙4（株式会社藤本建設 相川課長）

藤本建設の相川と申します。この事業に興味がありまして新聞などで先行して見てまして、先月の12月中旬から試験的に回収業者さんと一緒になりまして、とりあえずやってみようということで始めました。年末ちょうど書籍その他の1年分の溜まったものが出ましたので、良いタイミングでの仮スタートだったと思います。まず1回目は会社に来ていただいてどういうものが出ているか、どういうものを出してはいけないのかについて、その前の事前の説明会で参考資料をいただいていたので、それを見てうちの会社ではこういうものが出ていて、例えば窓の付いているセロファンみたいな封書のものは、本当はだめなんだよとか、糊のついたものとか、コピー用紙の防水になっている紙は分けてくださいといったように、企業で使っているものはそんなに何百種類もあるわけじゃありませんので、自分の会社に合ったスタイルを見出せばいいと思います。説明会のときにいきなり百パーセント目指さなくていいんだよという言葉をしていただきましたので、気楽に始めることができました。家庭ではリサイクルは数年前からやっていることです。それを何で今まで会社でやっていなかったかと、それだけの話ですので、最初はちょっと社長や役員にごみ箱が増えるとは言われましたけど、慣れていただいて。コピー用紙が入ってきた箱に古紙回収箱というこういうものを貼って、それに分別して出せるもの出せないものということで始めました。皆様も明日からでもいいですので、2月1日から回収するまでに材料を溜めておいていろんなもので試されてはいかがでしょうか。これが12月から始めた素朴な意見です。



別紙5（青森市環境部清掃管理課 小笠原課長）

青森市清掃管理課長の小笠原と申します。

閉会に当たりまして一言御挨拶を申し上げます。

本日は御出席をいただきました会員の皆様方の御協力によりまして議案が全て御承認されました。青森オフィス町内会を立ち上げることができましたことに対しまして大変うれしく思っております。また、このオフィス町内会の制度を築いて来られました県の環境政策課の職員の方、また、青森市古紙リサイクル事業協同組合の方々には心より厚くお礼申し上げます。

さて、本市が清掃工場で行っております燃えるごみの拡散検査あるいは組成分析の結果を見てみますときちんと分別をすることでまだまだリサイクル可能な古紙類が多く含まれております。そのことから今回の取組が青森市の事業系ごみの減量化あるいはリサイクル率の向上に向けて大きな足がかりになるものと期待しております。会員の皆様方におかれましては古紙類の分別排出により一層の御協力をお願い申し上げますとともに、市といたしましても今回の取組の環をさらに広げるために今後とも広報啓発活動をして参りたいと考えております。

最後になりますが、本会の益々の御発展とオフィス町内会の成功モデルになることを祈念いたしまして簡単ではありますが閉会の挨拶とさせていただきます。

本日はどうも御苦労さまでした。